



こんにちは

村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2021.12.24
№332

12月議会
補正予算

子育て家庭に「10万円一括給付」24日に 口座に振り込み予定

12.22に臨時議会がひらかれ、前回可決した5万円に加え、残りの5万円も併せて一括給付するために予算が上程され、可決。24日にも児童手当などの口座に振り込まれます。

今回の10万円は子育て家庭だけの対策であり、子どものいない家庭や非正規雇用で収入減少の方たちは対象外です。

《スケジュール》900人分が予算化
12月24日 児童手当受給者等に振り込み (402世帯、741人)

1月下旬より 児童が高校生のみの方、公務員等 (159人分)

	第6号補正	第7号補正	合計	備考
支援金	4,500万	4,500万	9,000万	900人
委託料	77万円	16.5万	93.5万	システム改修
郵送料	10万円	6万円	16万円	通知発送
その他	5万	5万	10万円	消耗品等
合計	4592万 円	4527.5万 円	9119.5 万円	

福祉灯油券も非課税世帯のお宅に届きます。 温かい年末年始を迎えられるよう、 願っています。



Merry Christmas!

12月21日の手仕事幸房の手仕事講座にあわせて、ユーカリ栽培の会社から出荷外れのユーカリの葉を

大量にもらい、参加者で分け合いました。私もさっそく家にあった藤弦のわっかにユーカリを巻き付け、松ぼっくりとポインセチアを飾り、青いリボンでくみました。

世界中の難民たち、貧困に苦しむ子どもや女性たちが一日も早く心穏やかにクリスマスの食卓が囲める日が来るのを祈ります。

📷
今週のパチリ!

子ども一人あたり5万円支給、年内に。 残りの5万円も「現金で」。町長明言！

最終日提出の補正予算では、迷走を続けている「子育て世帯等臨時特別支援事業補助金」が予算化、決定されました。18歳未満の子どもに対し、まず一人5万円が振り込まれます。すでに児童手当などで金融口座などの情報は入手しているため、申請は不用。速やかな給付が望まれます。12月末までに振り込む予定。900人分、4,500万円。全額国庫負担。

政府は最初、確実に消費にまわすために10万円のうち5万円は「クーポン発行」を予定していましたが、地方自治体からの「使うところがない」「使い勝手が悪い」などの批判を浴び、最近では《10万円一括支給》や《クーポンではなく現金も》と対応が迷走、自治体は対応に右往左往。

最初から10万円現金ならば振込手数料が安く済みます。クーポン発行の事務費が967億円もかかることから「税金の無駄使い」の批判は当然です。

この給付金事業は「子育て世帯等・・・」との名称が示すように、本来は非正規雇用、女性、学生など困っている世帯を応援する給付が事業創設の原点。子育て世帯だけでなく、本当に困っている人に支給されるべきです。全員協議会で町長は「残りの5万円も現金で」と明言しましたが、子育て家庭だけに特化されていることが問題です。今年度の予備費が2億円もあることから、拡充を求め賛成しました。

竹ベンチでたき火を囲んであったまろう @茂田井公民館広場

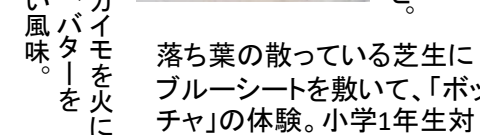
たてしな“ずく”りの会ベンチ班と地域包括支援センターとが主催で行われた上記イベントに参加しました。広さのある茂田井公民館広場には、薪を入れたドラム缶炉がぱちぱちと勢いよく炎を上げており、体温測定、手指消毒もそこそこに、手をかざしに駆け寄りました。会場にはすでに豚汁のおいしそうなおいが漂い、大勢のスタッフさんが動き回っていました。

「ちょっと手伝って！」というので「何々？」と行くと、炉に入れるサツマイモの準備。5cm程に輪切りされた茹でサツマイモを濡れた新聞紙にくるみ、さらにアルミフォイルにくるんでボールの中に積み上げます。ジャガイモはそのままアルミにくるんで準備し、それぞれのドラム缶炉に放り込みます。

お芋が焼き上げるのを待っている間、小型炉では20cmくらいのピザが焼き上がり、さっそくいただきました。さらに別の炉ではマシュマロを火にあぶって、それをビスケットに挟み、上にチョコをon!ビスケットで挟んでぎゅっとつぶすとマシュマロサンドの出来上がり。おなかがいっぱいになったらブンブンゴマの工作や紙トンボづくり。集まった親子連れ、みんな元気になりました。

牛乳パックの底を使ったブンブンゴマ。タコ糸を通して、真ん中を回して撚りをかけ、両手を水平に寄せたり離したりすると中のコマが回転してきれいな模様が。私もさっそく色を付け「見て見てキレイ！」と家に帰って自慢すると。

「オイオイ、それじゃ意味がないよ。こうやるんだよ」と夫。アララ！まるでゴムのように伸び縮みし、ブンブンといい音が鳴ってコマがいつまでも回り続ける。それで「ブンブンゴマ」というのか、と納得。音が鳴るまで、ヨーヨーのようになるまで頑張りました。孫に見せてやりましょ！



とろける甘さの
サツマイモ農家の
差し入れのここと。

茹でたジャガイモを火に入れ温めて、バターを乗せるといい風味。

落ち葉の散っている芝生にブルーシートを敷いて、「ポッチャ」の体験。小学1年生対高学年の構成となって真ん中の白い球に近づいた方が勝ち。一人一回のチャンスをものにしようとする真剣にボールを転がしました。人手が足りないで、私も1年生の側に参戦。なかなか思うようには転がってくれません。年代を超えて、みんなで楽しめるゲームです。貸し出しもOKとか。楽しいひと時でした。

